

山口県同窓会 学術講演会

最新の小児歯科治療について講演

田辺均(2期)

平成23年4月16日16時から
山口市のセントコア山口にて

福岡歯科大学同窓会山口県支部(長州歯会)総会、学術講演、懇親会が開催されました。

学術講演は講師に福岡歯科大学 成長発達歯学講座 成育小児歯科学分野教授の尾崎 正雄先生をお招きして「最新の小児歯科治療について」という演題で講演していただきました。

福岡歯科大学の成育小児歯科学分野は1973年に西日本で初めての小児歯科学教室として開講されましたが、その当時の懐かしい母校や周辺の景色、教室の模様などをスライドで紹介していただきました。また小児歯科治療についても、開講当時は患者が多すぎて、予約1年待ちが普通でしたが、口腔の健康教育の成果により、う蝕の軽症化がみられるようになり、それに加えて少子化による患者数の減少もあり大学病院小児歯科受診患者の質の変化がみられ、現在はいう蝕予防、咬合誘導を希望する患者が増加しているとのことでした。う蝕治療

の実際ではMI(ミニマムインターベション)を取り入れた治療や、舌の悪習癖を矯正し嚙下障害を直す装置や、デントラルCTの活用により永久歯胚に影響を与えず、過剰歯を摘出する治療など、多くの最新の小児歯科治療を教えてくださいました。

講演終了後、記念撮影、懇親会が行われ、尾崎教授の同級生も数名出席されており、時間が逆転したように学生時代の話で大盛り上がりでした。尾崎教授からも「懐かしい皆様にお会いできて、大変楽しい講演をさせていただきました。」というコメントをいただきました。



同窓生からの手紙

福岡歯科大学学内同窓会長として

福岡歯科大学咬合修復学講座口腔インプラント学分野
准教授 城戸 寛史 (6期)

2010年10月に尾崎正雄(3期)先生が成長発達歯学講座 成育小児歯科学分野の教授に就任されました。有床義歯学分野の高橋裕教授に続き、同窓から2人目の教授の誕生は学内の同窓生にとって大変励みになります。尾崎先生が教授に昇任され、慣例により同窓会学内同窓会長を退任されましたので、その後を引き継ぐ形で平成23年度より学内同窓会長の任に就くこととなりました。

同窓会からは学内の若いドクターに対して、研究費や海外学会参加費の補助金、卒後研修の終了祝賀会など、様々な支援が行われています。学内同窓生に対するこれらの支援活動が、後輩たちのさらなる活躍につながるように努力したいと考えます。

また、インプラントに関連した卒後研修の一環として、同窓会主催の「ICOI Fellowship養成コース」や「F.P.I.T.インプラントセミナー」を開催しています。ICOI Fellowship養成コースは、世界最大の規模のインプラント関連学会であるICOIの認定資格を取得するためのコースで、このコース修了者から約10名が資格を取得しています。F.P.I.T.インプラントセミナーはインプラントの初心者を対象としたコースで、実習内容が大変充実しています。これらの講習会では学内外で活躍する同窓生が講師陣の中心となっており、同窓生の貴重な研修の機会となっています。

来年度、福岡歯科大学は40周年を迎えます。この節目の時期に当たり、微力ながら同窓会と学内外とのパイプ役になれるよう頑張る所存です。

卒業生NOW

マイブームは自転車と銭湯!

大神 京子 (17期)

こんにちは。17期生の大神京子です。

卒業と同時に上京し、あっという間に16年…。上京したての頃は、福岡に帰りたいと毎日思っていたのですが、縁もゆかりもない東京都新宿区で開業し、おかげ様で今年の5月で開業10周年を迎えることができました。これも何かと応援して下さい、相談にのって下さった先輩方、同期の友人たちのおかげと感謝しています。ありがとうございます。

最初の数年間は、24時間365日仕事漬けの毎日でしたが、ここ数年やっと気持ちにゆとりができて自分の時間を持てるようになってきました。

特に最近ハマっているのが、自転車と銭湯!福岡にいた頃は、通学は勿論徒歩5分のコンビニすら車で走っていたのですけどね。



同窓生オープンキャンパス・入試説明会

5月29日と6月12日に、福岡歯科大学の同窓生のご子弟を対象としたオープンキャンパス及び入試説明会が開催されました。学内施設見学や在学生・教員との歓談会などが行われ、参加者からは、歓談会で在学生から国際交流の話聞いたことや入試説明が個人面接の対策の参考になったことなど喜びの声があがりました。



大学ポロシャツ
販売中!



福岡歯科大学本館1階日用品売場において、大学ポロシャツの販売を1着1,100円(税込)で開始しました。数に限りがありますので早目にお求めください。